

2020年5月26日の経営会議の概要

開催日時	2020年5月26日（火） 午後3時30分 ～ 午後4時15分
開催場所	政策会議室
付議目的	「（仮称）2040なりたい未来」（基本構想素案）の承認を受ける。
所管部課	政策経営部企画政策課、経営改革室
案件名称	（仮称）まちだ未来づくりビジョン2040の策定について
実施期間	2022年4月 ～ 2040年3月
法令根拠	無し
対象者	市民をはじめ、町田市に関わる全ての方
案件概要	「（仮称）2040なりたい未来」は、2040年に向けて町田市が目指すまちの姿とその方向性を示すものです。これは、市民が考えるなりたい未来の姿を受け、変わることのない普遍的な将来像を掲げたものです。 策定にあたっては、地区別意見交換会や各種ワークショップ等を開催し、延べ800人を超える市民と協働検討を進めてきました。 この検討結果を踏まえ、町田市長期計画審議会でも慎重且つ活発な議論を積み重ね、このほど同審議会から中間報告が提出されました。 これを「（仮称）2040なりたい未来」（基本構想素案）とします。 なお、素案については、6月にパブリックコメントの手続きを行い、さらにより多くの市民に知って頂くとともに、より幅広く市民の意見を伺います。 【基本構想部分の内容】 《まちづくりの方向性・なりたいまちの姿》 ・子どもと共に成長し、幸せを感じることができる ⇒ここでの成長がカタチになるまち ・ちょっといい環境の中で、ちょうどいい暮らしができる ⇒わたしの“ココチよさ”がかなうまち ・人と人とがつながりながら、多様な価値を尊重し合うことができる ⇒誰もがホッとできるまち 《行政経営の方向性・行政経営のあり方》 ・多様な主体と共に町田らしい公共サービスを展開していく ⇒共創により新たな価値を生み出し、市民の生活をより豊かなものに 新型コロナウイルス感染症の影響の長期化が予測されることによって一層、社会経済の不確実性が増していくなど、今後の行政課題は複雑化し、解決が難しくなってくることが見込まれています。市民の暮らしを守るあらゆる対策を、時期を逸することなく講じることができるよう、基本構想を受けた具体的な取組については、基本計画及び実行計画で掲げていきます。

主な意見	○キャッチコピーの web 投票の実施時期を具体的に明記すること。 ○「なりたいまちの姿」と「行政経営のあり方」との表現のバランスを図ること。 ○突発的な事態が発生したとしても、その経験を糧とし、組織力の向上につなげていくこと。 ○行政経営の価値について、具体的なイメージを持っておくこと。 ○その他、文言等を整理すること。
審議結果	提案内容を承認する。上記意見に留意した上で進めること。
出席者	<委員・幹事> 石阪市長、高橋副市長、木島副市長、経営改革室長、総務部長、財務部長、秘書課長、職員課長、法制課長、財政課長 <説明者> 政策経営部長、企画政策課長、企画政策課未来づくり担当課長、経営改革室課長